



北海道廳野付牛中学校  
北海道廳立北見中学校  
北海道北見高等学校  
北海道北見北斗高等学校

# 東京とどの実

〈発行〉

東京とどの実会 事務局

〒113-0034 東京都文京区湯島 4-6-11  
湯島ハイタウン A-207

<http://www.tokyo-todonomikai.com>

## 同窓生紹介

Interview

### ドラマ制作17年

昭和58年卒 藤田恵里香さん

テレビ朝日映像株式会社  
第2制作局第2制作部ドラマ班 プロデューサー



テレビドラマ制作の世界で活躍している同窓生がいるとの情報で、職場近くのアークヒルズでお話しをうかがいました。

テレビ朝日映像株式会社の藤田さんは、プロデューサーとしてテレビ朝日で放送されていた土曜ワイド劇場の制作に携わり、沢口靖子さん主演の「鉄道捜査官」シリーズは17年目をむかえるということでした。

北斗では演劇部に所属し、進学した早稲田大学で演劇を少しやっつてはみたものの何か違うと感じたとのこと。演じる人になるのではなく、裏方に向いていると、

制作会社に就職し、A

Dからスタートしました。

所属するテレビ

朝日映像は、テレビ

朝日の「グッドモーニ

ング」、「じゅん散歩」

「徹子の部屋」といつ

た番組をはじめ、ド

キュメンタリー、バラ

エティー、ドラマなど

幅広いテレビ番組制作を行う映像総合

プロダクションです。藤田さんは現在、

ドラマ班のプロデューサーとして2時

間ドラマを制作しています。プロデュー

サーとは、

番組制作の

総責任者で

す。企画立

案からキャ

スティング、

スケジュー

ル及び予算と作品のクオリティー

管理も行います。制作全体を統括

する職務で、立案から完成まで何

年もかかることがあるそうで、そ

れだけにやりがいがあるとおっ

しゃいます。

また、土曜ワイド劇場のように

エンターテインメント性の高い作



「ドラマ この街の命に」★セルDVD 好評発売中  
【価格(税抜)】DVD 3,800円 【発売元】WOWOW  
【販売元】カルチュア・パブリッシャーズ  
【セル販売協力】TCエンタテインメント

また、土曜ワイド劇場のようにエンターテインメント性の高い作品制作の傍ら、社会的問題を含む骨太のドラマ制作にも関わり、昨年WOWOWで放映された「この

街の命に」は、二〇一六年日本民間放送連盟賞最優秀賞、東京ドラマアウォード二〇一六作品賞単発ドラマ部門優秀賞他を受賞しました。これは、ある街の行政組織「動物愛護センター」を舞台に殺処分されるために持ち込まれた罪のない動物たちの命を救おうと踏み出した獣医たち職員と再生を描いた物語で、人間と動物のあり方について今一度考え直すきっかけを与えています。

会報の取材を通じてやりとりしたメールの「既存のメディアは今、インターネットの台頭によるプラットフォーム革命をどう生き抜くか迫られていますので、この歳になって尚もがいております」というメッセージに業界の厳しさを感じます。テレビ朝日の土曜ワイド劇場はこの4月から放送枠を日曜朝に移行して「日曜ワイド」となり、藤田さんも新たなチャレンジをされているはず。益々のご活躍を期待したいと思います。



# 夢のような誼を 結ばせていただき感謝、感涙

恩師 田中晴美先生

昨年3月、北斗高校の事務より「今年の東京とどの実、先生をお招きしたいそうです。担当幹事が58期生の佐々木育です。先生も知っていますよね。野球の北北海道大会決勝で惜敗した時のキャッチャーですよ。」と連絡を受け、困惑しているところへ佐々木君からの連絡。複雑な心境のまま、不思議な縁を感じ、出席することにしました。

佐々木君から同窓の資料を送っていただき、彼らの時代が鮮明に蘇りました。北斗高校商業科の閉科、普通科最初の8クラスの学年でした。北斗生が



ご挨拶をされる田中先生

悪くも大きく様変わりした時代でした。生徒自身も実

感じていたと思います。

生徒指導部の私は厳しかったと思います。解決しない事柄が多く発生、釈然としないまま今日にいたっていました。女子の夏セーラーが半袖になった経緯の中で、58期生の3名の女子が無断で長袖を切つて半袖にして登校私に見つかり、強く叱責されたとの事。私にはその事の記憶は無く、職員会議で先生方を説得して夏セーラーを正服にしたこと等々(昔の先生の中には正装は長袖と主張)。「東京とどの実会」のお蔭で多くの事柄が解明出来、笑い話になりました。

東京に出かける前に、佐々木君から丁寧な情報を沢山いただき、中でも、「当日、盛り上がった集まりになるよう頑張りますので、先生も胸躍らせて、ワクワクして会場に来ていただければと思います」と書かれていて、私が不安な気持ちで居るのではと、細かい心配りと気遣いに感謝しています。私は、学生時代に縁があつて北斗高

校で教育実習生としてお世話になりました。出身は神戸です。その10年後、昭和52年〜平成17年退職までの29年間、体育教師として携わり、全うする事ができました。生徒に恵まれ、多くの諸先生に助けていただき、北斗高校を母校と思っています。体育教師の特権で、より多くの生徒と接する機会があり、数えきれない出会いと別れを経験。この度の「東京とどの実会の集い」で出会いと再会に強く縁を感じました。

6月25日当日、不安と緊張のまま、13時の開会ギリギリに到着、更衣する間もなく受付に直行、その時「先生」と今野さんの笑顔に安堵したのも束の間、たくさんの顔馴染みの笑顔に胸が一杯になり、パニックに陥り、その後の記憶はありません。しばらく放心状態の中、次々卒業生が声をかけて下さるのに、失礼があつたかもしれません。正直、自分の挨拶も記憶に無いのです。我に返つたのは、夏セーラーの3名のうち一人から他の2名の詫状を渡された時でした。嬉しかったです。時間の経過とともに、年を重ねた卒業生の一人一人の顔に高校時代の顔がオーバーラップして、当時の顔が蘇り、記憶がこのようにして蘇ることも

あると知りました。会は、和気藹々と談笑の渦中、全員がいきいきとした表情に「とどの実」の絆を強く感じました。本当に夢のような集いでした。

二次会は、58期生と銀座へ。人数も増え、お互い再会を喜び、満面の笑みで話に花を咲かせ、満開になったところで、佐々木君が野球の北北海道のビデオをセット。全員で鑑賞することになり、皆画面に釘付け、カメラが応援席の全校生徒の表情をアップに映し出すと、大騒ぎ、固有名詞の連発。自分を見つけて手をたたき、隣の彼女を見つければ肩をつつき、高校生そのもの。映像の中に映る懐かしい顔にそれぞれが高校時代にタイムスリップ、思いを馳せていた。瞬く間に時は過ぎ、名残りを惜しむも、最後に全員で記念撮影。私は下丸子に住む娘のところへ帰ることを告げると藤田さんが途中まで同行してくださり、電車の中の束の間おしゃべりも思い出になりました。最後になりましたが、当番幹事の48期、58期、68期の皆様、東京とどの実会の会長はじめ、会員の皆様、貴重な時間をありがとうございます。心より感謝申し上げます。

## 散策 Report

### 第66回 東京とどの実の集い 「本郷界限と東大構内の三四郎池を歩く」報告

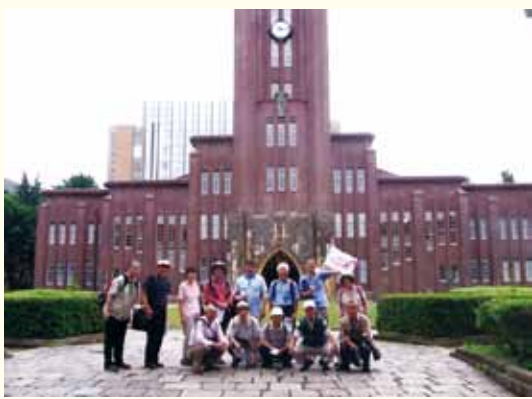
昭和43年卒 作田 英一

恒例の散策は、今年は多くの文人が居を構えた本郷界限と、都会の中でも静けさの残る東大本郷キャンパスの三四郎池を散策しました。朝、九時半、地下鉄千代田線湯島駅に集合、今年の参加者は女性4名、男性14名の総勢18名です。当日は曇り空ですが、まずまずの散歩日和の中、まずは湯島天神を目指します。

湯島天神は学問の神様として知られる菅原道真公を祀っています。又、境内は梅の花も有名で満開の時期は大勢の人で賑わいます。そこから、春日通りに出て、緑が多く静寂な本郷界限に入っていきます。



木々の多い静かな路地を通りぬけると、旧岩崎邸庭園です。五千坪の敷地に建つ洋館は、三菱の創始者岩崎彌太郎の長男久彌が建てた岩崎家の本邸で



す。広大な庭園は建築様式と同時に和洋併置とされ「芝庭」をもつ近代庭園の初期の形を残しています。そこから、不忍池の方を下っていくと、不忍通り、そこに横山大観の記念館があります。今度は言問通りを登っていくと、途中に弥生美術館、竹下夢二美術館があり、そこを右手に見ながら本郷通りへと出ます。本郷通りを左折し、正門から東大本郷キャンパスに入る、そこは都心とは思えないほど静まり返っていました。



銀杏並木道を通って安田講堂へ、そこは大学紛争の拠点となり学生と機動隊の壮絶な戦いが繰り広げられたところです。続いて、憩いの場となつている構内を

散歩し三四郎池の周りを散策。この池は、夏目漱石の小説「三四郎」で登場して以来「三四郎池」の名前で有名です。最後に東大で有名な赤門(重要文化財)をくぐり、本郷通りに戻ってきました。

本郷通りを下り、左に折れて菊坂をくだる途中で左折して狭い路地の突き当りが、樋口一葉の旧居跡があります。現在は建屋がなく一葉が使っていた井戸が残されているだけです。この辺りは坪内逍遙や石川啄木などの有名な明治の文豪の旧居跡がありました。菊坂に戻って少し行くと、一葉が家計をやりくりするために通つた質店があります。

質店を右手に見ながらだらだと下っていくと、もうそこは終点の春日駅です。春日駅からは総会会場がある四ツ谷駅までは南北線です。ご参加の皆様、本当にご苦労様でした。

### 今年の散策案内

東京タワーから増上寺 初夏の都心散策

東京タワーのまわりを散策します。

出発は日比谷線神谷町駅。途中休憩を含んで約2時間の道のりです。

家康の命により防人の神様として祀られた愛宕神社は自然地形としては23区内で一番高い山(標高二五七m)にあります。講談「寛永三馬術」の間垣平九郎の故事で知られる出世の階段を上ってみます。環状2号線の整備で街の様子が変わった虎ノ門界限からNHK放送博物館、東京タワーを経て、徳川家ゆかりの増上寺、関東のお伊勢様と尊称される芝大神宮、終点はJR浜松町駅です。

会場到着後は更衣とシャワーのお部屋を用意してあります。タオルをお忘れなく。



愛宕神社(右上)、東京タワー、増上寺(右下)



# 第66回「東京とどの実会」

2016年6月25日(土)  
於/スクワール麹町



小山内会長挨拶 (昭和26年卒)      恩師 田中先生      来賓・渡部校長先生 (昭和52年卒)      来賓・小原とどの実会会長 (昭和52年卒)



新会長 長谷川知子さん(昭和40年卒)(左)      校歌斉唱・松浦さん (昭和41年卒)  
新幹事長 吉村秀幸さん (昭和41年卒)      司会: 山本勉さん (昭和48年卒)      今野久美さん (昭和58年卒)  
全員合唱リード長谷川さん (昭和38年卒)      吉見さん (昭和56年卒)

**第**66回東京とどの実会の集いは、平成28年6月25日(土)13:00からJR四ツ谷駅前のスクワール麹町にて北見から恩師の田中晴美先生をお招きして開催されました。来賓として北見北斗高校の渡部校長先生(昭52年卒)をはじめ、北見、札幌、関西のとどの実会長、昭24年卒から平成7年卒までの会員の方々141名が集いました。

今年の当番司会である山本勉さん(昭48年卒)と今野久美さん(昭58年卒)の開会宣言で始まった総会は、松浦宏幸さん(昭41年卒)のリードで校歌斉唱、小山内清孝会長(昭26年卒)の挨拶に続き、前田良三幹事長(昭40年卒)による決算報告と役員改選報告が行われ、満場一致で承認されました。新会長となった長谷川知子さん(昭40年卒)と新たに役員となった方々が登壇し、新会長の挨拶に続き、桂名誉会長(昭24年卒)から激励のご挨拶をいただいて総会を終了いたしました。伊藤久絵副会長(昭47年卒)の乾杯の音頭で始まった懇親会では、北見からのご来賓である渡部校長先生(昭52年卒)、小原とどの実会長(昭



散策報告 作田さん (昭和43年卒)      中締め 渡邊範道さん (昭和59年卒)

52年卒)、恩師の田中晴美先生よりご挨拶をいただき、終始和やかな語らいの場となりました。恒例となった集いの前に行われる散策報告(本郷界隈と東大構内、三四郎池を歩く)、各クラブの写真撮影と続いた会は、「今日の日はさようなら」を全員で合唱した後、来年の当番である渡邊範道さん(昭59年卒)の中締めで来年を期してめでたく散会となりました。今年は昭和50年代卒業の方々にとくさんご出席いただき、過去6年間で最大の出席者数となりました。次回も大いに期待しています。

## 世代ごとの 歓談風景



テーブル1 24~27年卒、恩師、来賓      テーブル5 38~39年卒  
テーブル2 28年卒      テーブル6 40年卒      テーブル9 45~47年卒      テーブル12・13 58年卒  
テーブル3 30~33年卒      テーブル7 41~42年卒      テーブル10 48年卒      テーブル12・13 58年卒  
テーブル4 33~37年卒      テーブル8 43~44年卒      テーブル11 50~56年卒      テーブル14 59~70年卒

## 部活大集合





# およせいただいた近況から

## 絆深まる同期会の報告 続々と

昭和46年卒 松田 寛

### 46期、3年2組

#### 北見でクラス会

10月29日(日) 18時から北見の玉寿し本店で46期3年2組のクラス会を、男ばかり総勢15人で開催しました。その時、ついでに46年振りに北見北斗高校に行ってみて、その変わり様にびっくりしました。テニスコートの傍



バーで集まりましたという情報だけでなく、北見から誰かが上京するとか、お花見をしましたとか、北見とどの実会のビールパーティー後の二次会をやりましたとか、北見や札幌に帰省するので集まりましょうとか、北見でカンロを売っている店を知りませんか?とか、2組で担任の先生を交えて強行遠足のコースを走りましたとか、実に様々な同期の情報が、季節ごとに全国から集まるようになってきました。改めて、LINEをはじめ、SNSの威力を50歳を過ぎて実感したところです。昨年のご好評に比べ、今年も幹事は、論語の「天命ならぬ店名」をLINEでお伝えしています。(今年の同期会の会場は、O君が店長をしている新宿のお店です)



で在校生ともちょっと話して、非常に懐かしかったです。でも街中は完全にシャッター通りになっていました。

※「46期3年2組」は今年、ホームページを開設しました。同期会の写真や掲示板で賑わっています。46期の諸君は必見です。 <http://hokuto462.jp>

昭和43年卒 池田 順子

### 五十年ぶりの修学旅行

初めて道外へ、50年前の修学旅行は11泊の関西旅行だった、新幹線から見た富士山、京都・奈良、東京：初めて尽くしだった。往き帰りに2泊づつ、夜行列車から連絡船を乗り継いでの旅だった。

ただ、こうして多くの人と連絡を取り合って集まれるのもSNSあればこそですが、それだけでなく、人望と行動力がある人がいてくれるからなのだなあと思っています。幹事のKさんには本当に頭が下がります。こうした人のつながりの大切さ、切り盛りしてくれる幹事の重要さを、先輩はじめ若い人たちに伝えていくことが「天命」なのだと感じる今日この頃です。

昭和47年卒 伊藤 久絵

### 昭和47年卒 3年3組

#### 担任 野螻先生

昭和47年卒業、関東在住の有志は、二〇〇一年以来、年に1回、時折北見や札幌からの飛び入りも迎えての1泊温泉旅行をしています。遠くは東北、近くは伊豆や房総、昨年はテーマを

43期は、毎年1泊どまりの忘年会

をしてきたが、今回は関西支部の3名が幹事になってくれて修学旅行を計画してくれた。旧友M子さんの日記から宿泊先など当時の旅程を知るところから始まり、50年目の昨年12月に実現した。地元の北見、北海道道外各地から25名の参加があり、宿泊は、改築はされているが当時と同じ日昇館。

みなで昔の話の切れ切れを繋ぎ合わせ話は尽きず……。たくさん観光地を歩いて笑った3日間、岡田先生、みなさん本当にあ



箱根駅伝におき、5区の山登り区間で車で走行し、往路ゴール地点にある箱根駅伝ミュージアムを訪ねました。

この温泉旅行のきっかけは、16年前、3組の担任だった野螻先生を訪ねようという話が持ち上がったことでした。先生は当時80歳。退職後は故郷の長万部で暮らしていました。野螻先生は昭和29年に赴任し、昭和47年に厚岸水産高校へ転任されるまでの18年間北斗高校で教鞭をとられました。先生のこ



とを記憶している諸先輩の方々も少ないと思います。その北斗



りがとうございました。

木守柿 京を沈めて 遠比叙  
名をひとつ 知りて親しき 冬の峰

昭和59年卒 渡邊 範道

### 五十にして店名を知る?

平成28年6月25日、東京とどの実会終了後、場所を新宿に移し、関東在住59期の記念すべき第1回同期会を開催しました。当日は、関東一円から30名が参加し大いに盛り上がりました。卒業以来32年ぶりという方がほとんどで、まずは自己紹介と近況報告少し話すだけで、昔の記憶が甦り、あっという間に、高校時代にタイムスリップすることができました。

きっかけは、あるクラスのグループLINEに、クラスを超えた多くの参加者があったことでした。以降それぞれが知りうる限りグループに招待し、ついに50名を超えるメンバーになりました。東京とどの実会は、このLINEを使って告知ができたので、第65回は同期の参加が幹事のみ4名だったのに比べ、第66回は11名の参加となり、前述の同期会も盛大に行うことができました。

その後も、クラス会や懐かしメン時代の最初で最後の担任をされたのが私たち昭和47年卒業の3組でした。卒業式を終えた3月、同時に転任し、北見を去る前にあった如蘭荘を同級生と訪ね、夜遅くまで語り明かしたことを鮮明に覚えています。

卒業後も何かとお付き合いがあり、教え子の結婚式に上京したこともありました。写真は二〇〇一年の5月、東京、札幌、北見、旭川から函館の湯の川温泉に集まり、野螻先生をお迎えして1泊2日の同窓会で写したものです。先生と一緒に車で函館の市内観光をしました。五稜郭の桜が満開でした。

それから月日が流れ、今年先生は96歳、黒松内の施設で健在です。47期恒例の温泉旅行の折や先生の誕生日の3月31日には電話をするのですが、最近では耳が遠くなり電話の会話は難しくそうです。しかしながら、体調面では問題なく、時折くる手紙を嬉しそうに読んでいるということ、いつまでもお健やかに願うばかりです。そして、もう一度、皆で、開業一周年を迎えた北海道新幹線に乗って、訪ねることができればと思う今日この頃です。



## 東京とどの実会役員

(平成28年度～29年度)

名誉会長	昭24年卒	桂 教夫	副幹事長	昭53年卒	渡辺 由紀子
相談役	昭26年卒	小山内 清孝	幹事	昭58年卒	今野 久美
会長	昭40年卒	長谷川 知子	顧問	昭27年卒	宮井 国夫
副会長	昭42年卒	広川 正三	幹事	昭37年卒	半田 護
々	昭43年卒	作田 英二	幹事	昭40年卒	石渡 俊弘
々	昭47年卒	伊藤 久絵	幹事	昭41年卒	松浦 宏幸
幹事長	昭41年卒	吉村 秀幸	幹事	昭42年卒	平澤 芳樹
幹事長代理	昭56年卒	吉見 じゅり	幹事	昭43年卒	池田 順子
副幹事長	昭45年卒	岡田 光弘	幹事	昭44年卒	角 論
々	昭47年卒	生駒 篤	幹事	昭44年卒	井上 順治

## 東京とどの実会

●会員数	1,310人	2016年12月31日現在
●会費納入数	271人	2017年3月31日現在
●総会出席者数		
2014年	115人	アルカディア市ヶ谷
2015年	106人	スクワール麹町
2016年	141人	スクワール麹町

## 平成27年度会計報告書

自 27年4月1日  
至 28年3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	1,636,762	会合費	70,401
年会費収入	494,000	印刷費	260,502
総会費収入	686,000	消耗品費	27,389
寄付金収入	213,000	通信交通費	247,512
預金利息	328	支払手数料	23,370
		総会費	733,809
		渉外費	42,518
		次期繰越金	1,624,589
<b>合計</b>	<b>3,030,090</b>	<b>合計</b>	<b>3,030,090</b>

## 物故者一覧 (2016年)

ご冥福をお祈りいたします。

昭11年卒	貴田岡 章史
昭18年卒	早坂 幸雄
昭24年卒	平川 秋彦
昭25年卒	林 忠生
昭26年卒	坂本 庄司
昭33年卒	垂水 誠一
昭40年卒	安藤 信雄
昭40年卒	堀畑 義則
昭42年卒	宮本 守明
昭42年卒	守本 孝夫
昭42年卒	山田 明

敬称略

## 編集後記

- ・会報18号をお届けします。編集はいつも4月。桜の季節です。隅田川を水上バスで下ると両岸に広がる浅草界隈の千本桜が有名ですが、最近では川が二手に分かれる大川端あたりの桜も見事です。東京港に出ると2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて臨海部に建設される選手村や競技施設の槌音が響き、東京は活況を呈しています。GW過ぎに北見へ帰ると、やはり桜が咲いていて、1年で2度目のお花見を楽しめますが、故郷は今JR北海道の事業見直しによる石北線の存続問題にゆれています。存続を訴えて、JRと交渉する同窓生の姿をニュースで見て、何とかうまくいくようにと思いました。
- ・この度、長野以来20年ぶりの五輪出場を決めた男子カーリング・SC 軽井沢クに北斗出身の平田洸介さんがいます。女子・LS北見の出場が決定すると、藤澤五月さんと北斗から男女ふたりのオリンピック選手が誕生します。皆さん応援しましょう。
- ・会報には毎月「思い出の写真」を掲載しています。高校時代の懐かしい写真をお持ちの方は事務局会報担当まで是非お寄せください。

## 思い出の写真



文化祭仮装行列(昭和47年頃)